

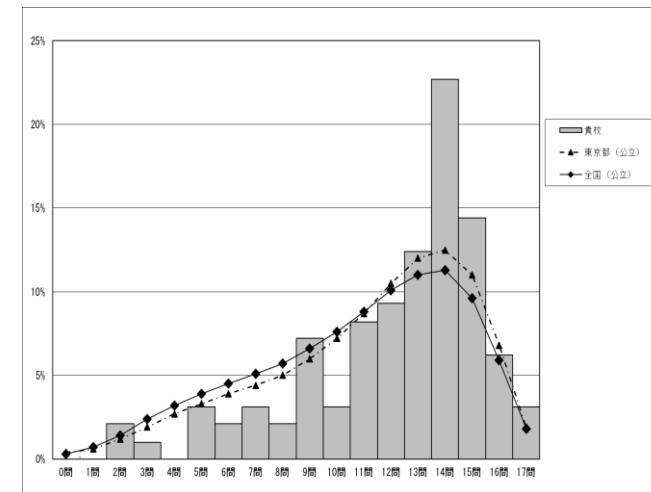
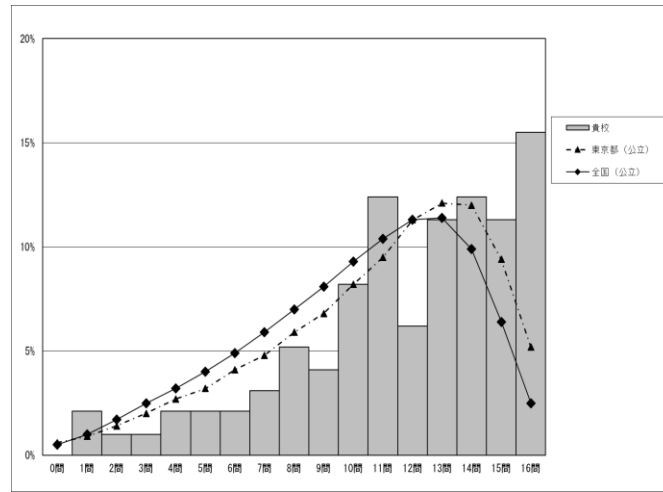
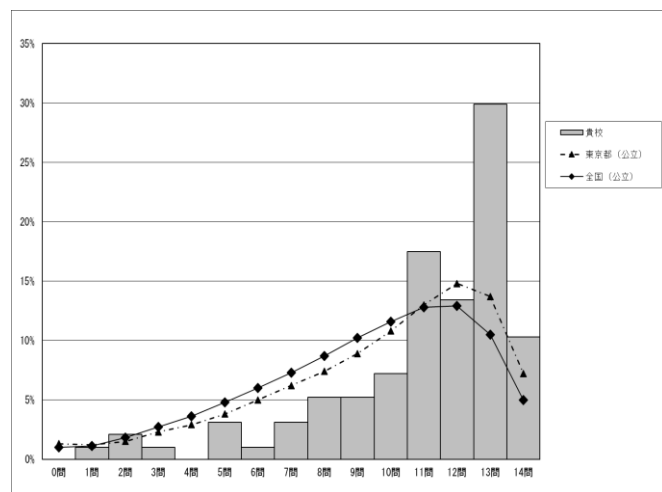
# 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果における課題分析表

# 江戸川区立西葛西小学校

国語<正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）>

算数<正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）>

理科<正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）>



	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
江戸川区立西葛西小学校	97	11.0 / 14	78	12.0	2.9
東京都（公立）	92,237	9.6 / 14	69	10.0	3.3
全国（公立）	965,308	9.2 / 14	65.6	10.0	3.3

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
江戸川区立西葛西小学校	97	11.7 / 16	73	13.0	3.7
東京都（公立）	92,266	10.7 / 16	67	12.0	3.7
全国（公立）	965,431	10.1 / 16	63.2	11.0	3.6

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
江戸川区立西葛西小学校	97	12.2 / 17	72	13.0	3.3
東京都（公立）	92,293	11.1 / 17	65	12.0	3.8
全国（公立）	965,761	10.8 / 17	63.3	11.0	3.8

## <現状把握>

国語、算数、理科ともに、正答率は全国平均、東京都平均を上回っている。この結果から、それぞれの教科において小学校で学ぶべき学習内容はある程度身に付いていると考えられる。以下、各教科の課題を示す。

【国語】「書くこと」文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけて記述すること。

【算数】「数と計算」示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察すること。

「変化と関係」割合について、知識及び技能を身に付けること。

【理科】自然の事物・現象から得た情報や実験から得た結果を基に分析して、自分の考えを記述すること。

## <授業改善のポイント>

- 記述式問題の正答率を上げるために、各教科の学習で、答えだけでなくその根拠を考え自分の言葉で表現できる場面を多く設定する。また、言葉や資料、式、図などを用いて説明したり、限られた字数で自分の考えを述べたりする学習活動を取り入れる。
- 学習したことが様々な場面においてどのように活かせるか、自分の生活とどのようにつながるかを意識して考えられるような学習活動を取り入れる。
- 個に応じた学力の定着に向けて、放課後学習教室や東京ベーシックドリルの有効活用を継続する。日常の授業の中で児童の実態を把握し、指導と評価の一体に努める。